

# 2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

## 極東開発工業株式会社



## 極東開発のグループ構成

### 極東開発工業株式会社

#### 特装車事業

86%

##### ■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱  
北陸重機工業株式会社㈱  
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)  
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)  
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)  
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

##### ■ サービス

㈱エフ・イ・テック  
振興自動車㈱  
井上自動車工業㈱

##### ■ 中古車販売

㈱FE-ONE

##### ■ 関連

極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

#### 環境事業

8%

##### ■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱  
極東サービスエンジニアリング北海道㈱  
㈱モリプラント  
㈱エコファシリティ船橋

#### 不動産賃貸等事業

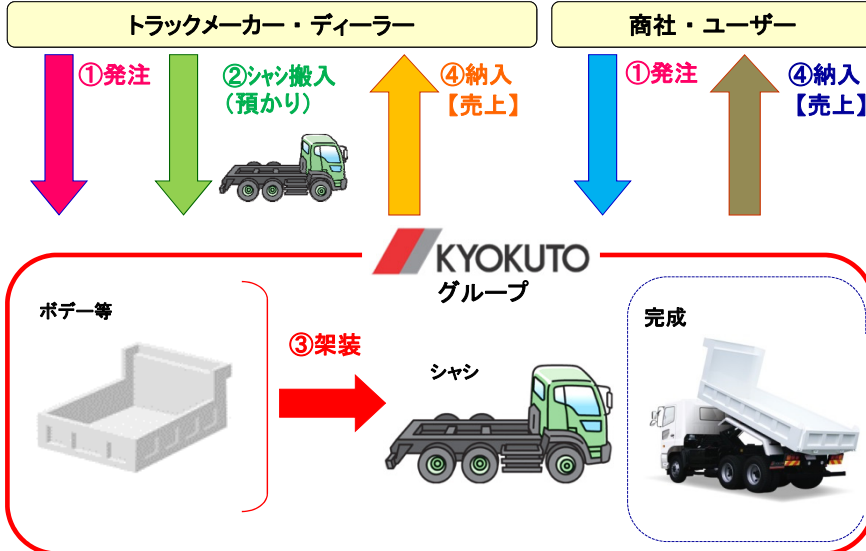
6%

##### ■ 立体駐車装置、コインパーキング

極東開発パーキング㈱  
㈱エフ・イー  
ささしまライブパーキング㈱

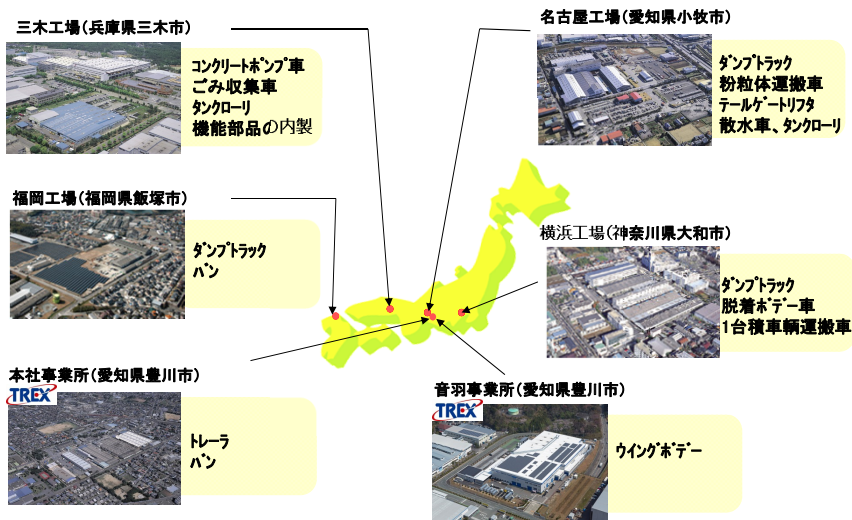
<比率は売上構成比(2019年6月期)>

# 特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

# 国内生産体制



## グループ主力製品



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬車



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ダンプトラック



脱着ボデー車



ごみ収集車



ウイングボデー車

5

## 海外生産体制



【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.



ダンプトラック  
ミキサートラック

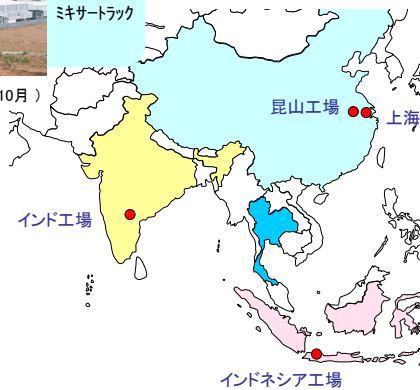
( 操業開始: 2012年10月 )

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック

( 操業開始: 2005年4月 )



【インドネシア】PT KYOKUTO INDOMOBIL  
MANUFACTURING INDONESIA

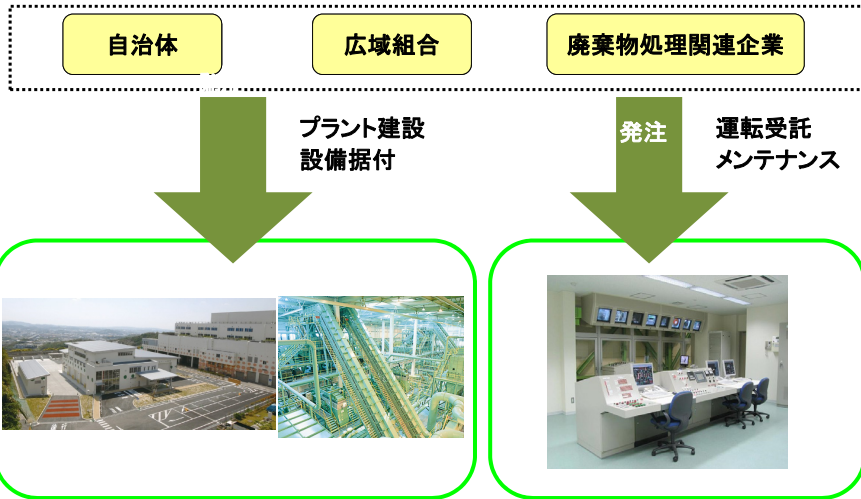


ダンプトラック  
ミキサートラック  
テールゲートリフタ

( 操業開始: 2014年2月 )

6

# 環境事業

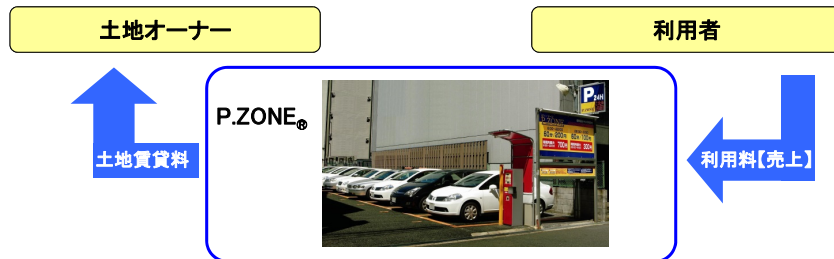


# 不動産賃貸等事業

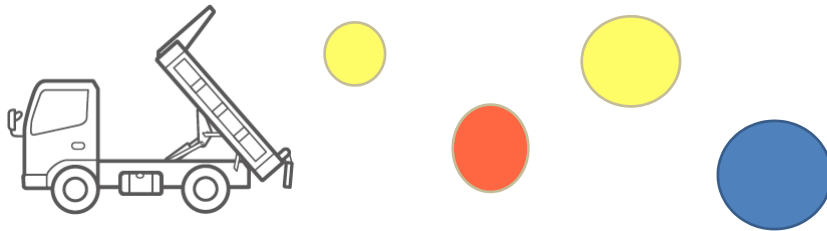
## 【立体駐車装置】



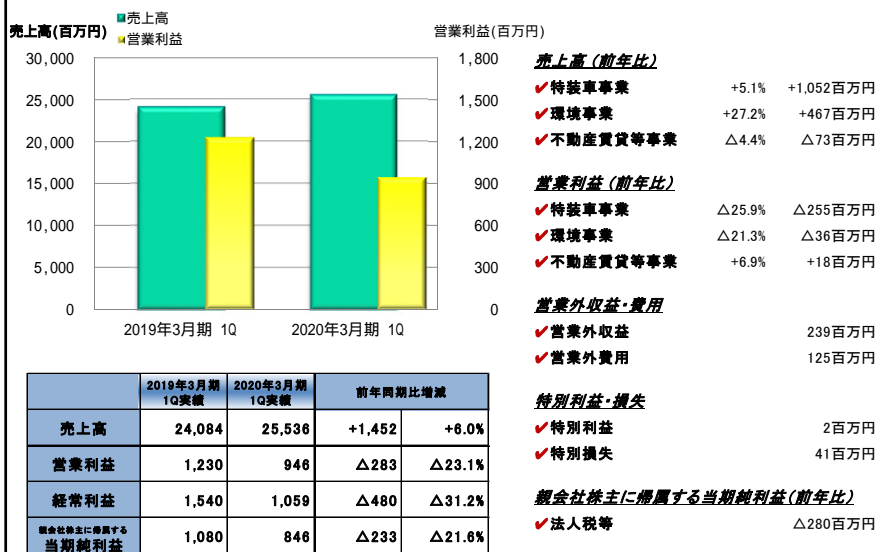
## 【時間貸駐車場】



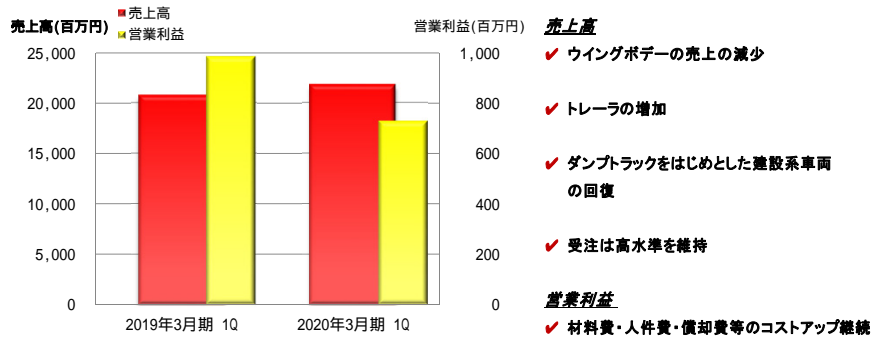
# 2020年3月期 第1四半期 連結決算実績



## 2020年3月期第1四半期 連結決算

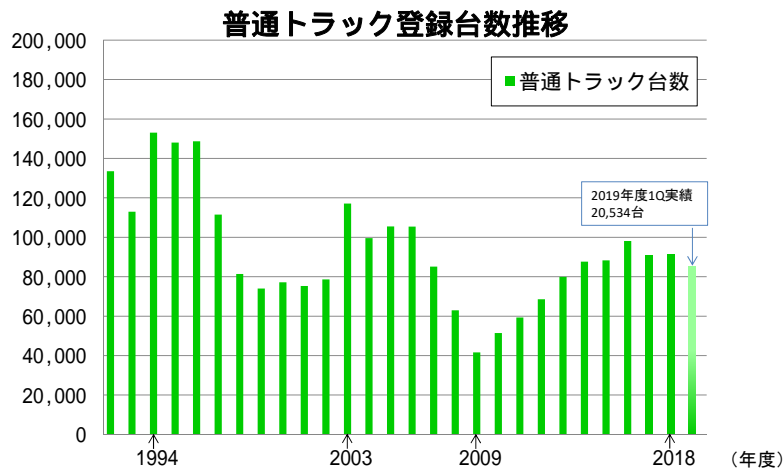


## 2020年3月期第1四半期 特装車事業

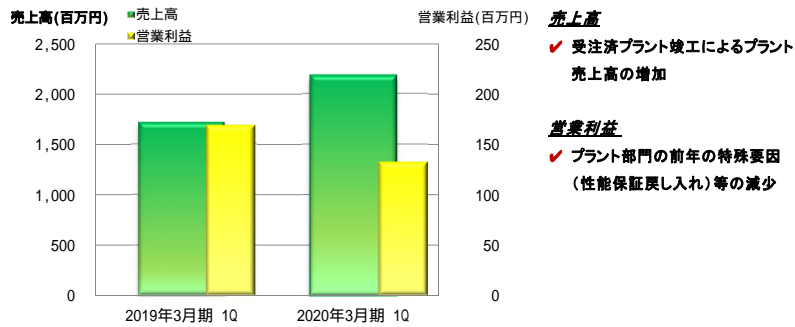


	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年同期比増減	
売上高	20,830	21,882	+1,052	+5.1%
営業利益	986	730	△255	△25.9%

## 2020年3月期第1四半期 特装車事業(市場環境)

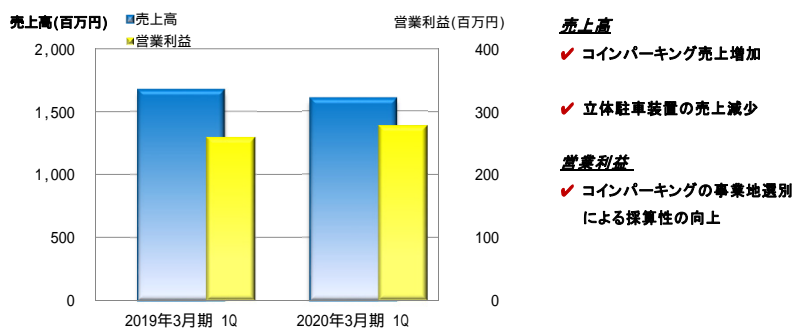


## 2020年3月期第1四半期 環境事業



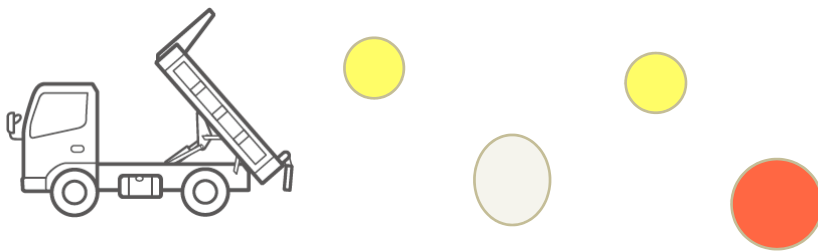
	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年同期比増減	
売上高	1,719	2,186	+467	+27.2%
営業利益	169	133	△36	△21.3%

## 2020年3月期第1四半期 不動産賃貸等事業

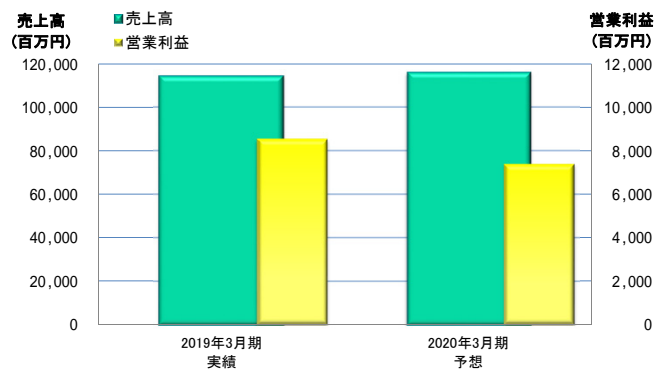


	2019年3月期 1Q実績	2020年3月期 1Q実績	前年同期比増減	
売上高	1,676	1,603	△73	△4.4%
営業利益	260	278	+18	+6.9%

# 2020年3月期 連結業績予想



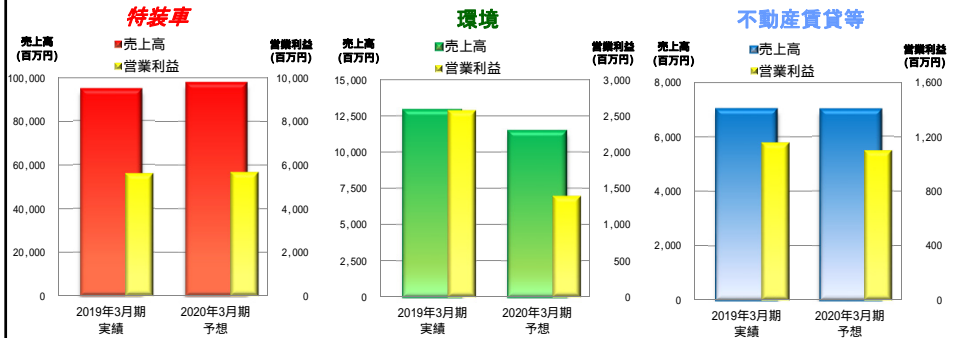
## 2020年3月期 連結業績予想



	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年同期比増減	
			増減額	増減率
売上高	114,301	116,000	+1,699	+1.5%
営業利益	8,554	7,400	△1,155	△13.5%
経常利益	8,817	7,500	△1,318	△14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,284	5,200	△1,084	△17.3%



# 2020年3月期 セグメント別予想



		2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年比増減	
特装車事業	売上高	94,888	98,200	+3,312	+3.5%
	営業利益	5,615	5,700	+85	+1.5%
環境事業	売上高	12,952	11,500	△1,452	△11.2%
	営業利益	2,581	1,400	△1,181	△45.8%
不動産賃貸等事業	売上高	7,035	7,000	△35	△0.5%
	営業利益	1,161	1,100	△61	△5.3%
調整額	売上高	△ 575	△ 700	△ 125	-
	営業利益	△ 803	△ 800	+3	-

## 今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ~設備投資効果の最大化



前中計までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により  
売上の拡大・生産性向上を図る



生産性の向上と利益体質の強化 ~IoT・AI等の活用



IoT・AI等の活用を積極的に進め、  
製品・サービスの付加価値向上と社内業務の効率化・自動化を推進する

**IoT・センシング**  
⇒見える化・データ化



**AI**  
⇒画像認識・自然言語処理  
音声認識・予知予測

**製品・サービスの付加価値向上**

作業効率や操作性・安全性の向上  
サービス支援(K-DaSS)

**社内業務の効率化・自動化**

スマートデバイス・音声認識の活用  
RPAの導入 (間接業務の効率化)  
現場作業の効率化・自動化

## 将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立

海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入  
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進



## 将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力  
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



## 企業品質の向上と社会的価値の深化 ～社会貢献の推進



転換期を迎える社会の中、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで  
企業としての持続的成長性・付加価値向上につなげる

社会課題	当社グループの取り組み内容	SDGsアイコン
人手不足の深刻化 女性・高齢者の労働参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>積載量の向上、トレーラー化（輸送・作業の効率化）</li> <li>操作性・安全性の向上</li> <li>省力化製品の提供</li> <li>健康経営の推進</li> <li>女性が活躍できる環境整備</li> </ul>	
社会インフラ老朽化 自然災害の多発	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種特装製品の提供</li> <li>生産能力の向上・柔軟化</li> <li>BCPの推進</li> </ul>	
脱炭素化・循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境事業の推進（リサイクル、バイオガス等）</li> <li>製品の省エネ化・電動化</li> <li>環境負荷物質の低減</li> <li>太陽光発電事業</li> <li>環境マネジメントのグループ拡充</li> </ul>	
製造業の空洞化 持続可能なものづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりの技能伝承</li> <li>工場見学・インターンシップの実施</li> <li>持続可能な調達の推進</li> </ul>	

23

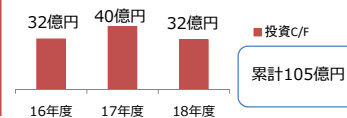
## 設備投資額・減価償却費・研究開発費



創出したキャッシュフローは持続的成長に向けた設備投資・戦略投資に積極活用

設備投資・戦略投資  
3カ年累計 200～300億円

(参考) 2016～18年度の実績



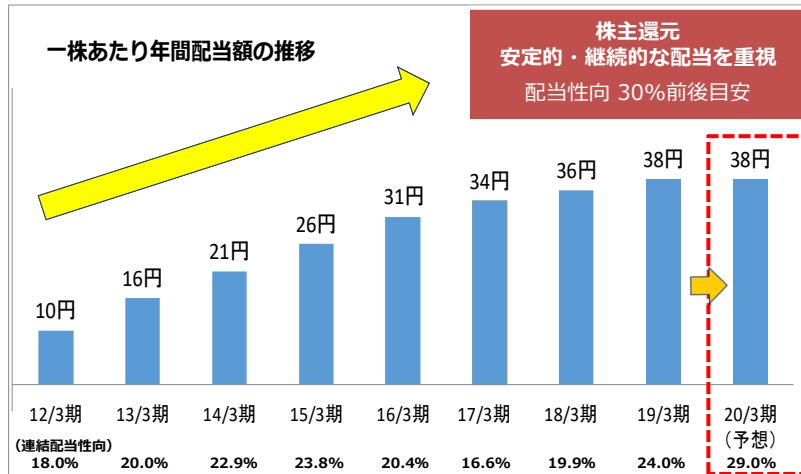
	2019.3期 実績	2020.3期 予想
設備投資	20億円	54億円
減価償却費	25億円	28億円
研究開発費	14億円	15億円

24

## 配当政策

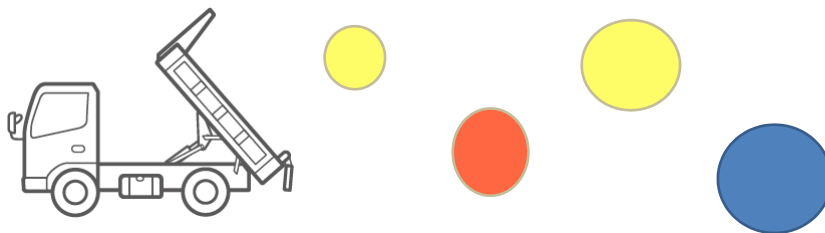
### 配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。



25

# TOPICS



26

## TOPICS① タイTTR社の株式譲渡および事業再編について



当社は、連結子会社であるTrex Thairung Co., Ltd (TTR 社)がタイ王国において展開している事業について、当社グループが保有するTTR 社の全株式を譲渡し、事業を再編することと決定いたしました。

2014年5月:4社合併にてTTR 社を設立

2015年10月:工場竣工。以来、現地向けのバンポデーおよび特装車の生産・販売を行う。

⇒ しかしながら、中核製品として期待していたウイングバンの需要が当初想定を大きく下回ったことや、現地の不安定な雇用慣行により操業度が向上しないこと等の要因から、操業以来、厳しい環境が継続。中期的にも今後の業績回復は困難と判断。

⇒ 2019年7月30日付で、当社を含む3社が保有するTTR社の全株式を現地合併先のタイルーン社に譲渡。

本件に関連して、2020年3月期連結決算の特別損失に592百万円(予定)を、個別決算の特別損失に210百万円(予定)をそれぞれ計上予定。

**今後は当社グループとして技術支援を行うことによりタイビジネスの継続を図るほか、今回の事業再編によって経営資源をより投資効果の高い分野に投入する。**



TTR社工場全景

27

## TOPICS② 新型「パワーゲート® G II 1000 / G III 1000」



### 【特長】

2019年5月29日発表

- ・キット重量を当社従来機種に比べ、最大で約60kg(※)と大幅に軽量化し、ワンランク上の積載量を確保。(※G II 1000 タイプL(アルミ仕様)の場合)
- ・当社従来機種に比べ、荷積み時のカート台車押し込み操作力を最大約24%(※)、荷卸し時におけるカート車輪接地時の衝撃を最大約30%(※)それぞれ低減させ、業界トップクラスの台車乗込み性能を実現。(※当社測定基準による。)
- ・IoT基盤を利用した当社独自のサービス支援システムである「K-DaSS」サービスツールシステムを搭載し、サービス性の向上を実現。

**➡ 重点拡販製品であるテールゲートリフタの商品力を向上させ、シェアアップを目指す。**



「パワーゲート G 1000」

28



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。  
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く  
本資料を複製・配布することを禁止します。